

## リスクリング講座 先端への参入支援

滋賀県は、県内の中小企業を対象に半導体や宇宙、AIなどの先端産業への参入を支援する「リスクリング・ブリッジ創出事業」を進めている。そのなかで、産業タイムズ社が基礎講座を、立命館大学ひわこ・くさつ

キャンパス(滋賀県草津市)の半導体応用研究センター（RISA）が実践講座を担当するリスクリング講座を開始した。

講座は、未経験者を対象とした基礎講座のほか、専門知識を深める実践講座が行われる。実践講座では、大学の研究施設で実機や研究の様子が見学できる。

10月24日に開催された実



MBE装置

室の学生が装置を稼働させる場面を見学した。また、研究開発用としての同設備と、量産用CVD装置との違いについての解説も行われた。その後、TEMを用いた結晶欠陥観察では実際に参加者がモニターを見学し、TEMを用いてできる観察や、関連装置と連動させて行う分析や反応について学びを深めた。

10月から開始した同講座は、約半年間、全8回のスケジュールで開催される予定で、今後は装置開発や新材料などについての講座が計画されている。

透過電子顕微鏡（TEM）を用いた結晶欠陥観察についての講義が行われた。基礎的な座学のあと研究施設に移動し、実機を前に装置の説明や稼働状況について具体的な解説が行われた。MBE装置の見学では、装置の内部構造についての説明が行われ、実際に研究